



# 修理方法の選び方

更新:2011年4月

この度は、漏水の修理見積書ご依頼いただきまして有難うございます。  
漏水修理は、建物状況・状態・耐久要望性などを考慮して、的確な対策手法及び  
工程などから慎重に修理方法を選択することが重要です。  
当社では、漏水の修理のご提案につき、修理タイプをご案内しております。

## 3タイプの修理工法があります

直し方	施工深	性証保		修理型(工法名)	見積タイプ
		水漏	質品工施		
ポイント防水	表面劣化	原則設定なし	原則設定なし (3ヶ月)	表面タッチアップ型	<b>A</b>
部分防水	下地劣化	部分的設定 可能	部分的設定 可能	下地交換改修型	<b>B</b>
全面防水	全面劣化	原則設定	原則設定なし	全面大規模改修型	<b>C</b>

修理NO	下地状況	修理タイプ	工法名	特長	耐久年数	工法名・仕様材	保証有無(期間)		施工範囲	サービス 点検	費用
							漏水	施工			
<b>A</b>		表面仕上	表面防水	仕上げ材の劣化のみの修理方法	3年間	シーリング充填工事、タッチアップコーティング	設定なし	3ヶ月～1年間	1か所1㎡未満	設定あり 1年以内	一部分処理
<b>B</b>		仕上下地	A+下地処理	仕上げ下地の補修及び部分範囲防水処置	5年間		設定なし	1年間(仕様)による	下地+仕上50㎡未満	設定あり 1年以内	部分範囲修繕
<b>C</b>		構造影響	B+全面修理	建物の構造体および全面防水工事範囲	10年間		設定あり	最大5年間	構造+下地+全面防水	設定あり 3年以内	大規模修繕費用

### ■再発した場合にアフターケアサービスについて

再発した場合には、保証内容に応じたアフターケアが受けられます。  
詳しいアフター内容に応じては、見積もり書、注文書、報告書など個別契約ごと異なりますので  
詳細仕様書などご確認ください。